



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月10日

上場会社名 株式会社オールアバウト 上場取引所 東
 コード番号 2454 URL <https://corp.allabout.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江幡 哲也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 森田 恭弘 TEL 03-6362-1300
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 <https://corp.allabout.co.jp/ir>
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	8,329	6.5	8	△98.1	22	△95.1	△25	—
2022年3月期第2四半期	7,823	—	445	—	451	—	221	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △27百万円 (—%) 2022年3月期第2四半期 227百万円 (△0.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△1.85	—
2022年3月期第2四半期	16.36	16.23

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	8,286	4,909	54.6	331.56
2022年3月期	7,934	4,987	58.1	339.40

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 4,525百万円 2022年3月期 4,606百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において、第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800 ～19,200	15.6 ～24.7	360 ～720	△45.2 ～9.5	360 ～720	△46.2 ～7.5	200 ～430	△41.8 ～25.1	14.74 ～31.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

（注）2023年3月期の業績予想につきましては、レンジ形式により開示しております。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	13,945,500株	2022年3月期	13,945,500株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	295,979株	2022年3月期	373,699株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	13,598,258株	2022年3月期2Q	13,529,986株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2022年11月10日（木）に機関投資家・アナリスト向けにオンラインにて決算説明会を開催する予定です。この決算説明会で使用する説明会資料は、決算発表後、また、動画配信、質疑応答等については決算説明会開催後、速やかに当社ウェブサイト（<https://corp.allabout.co.jp/ir/>）に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められるなか、各種政策の効果もあって、景気はゆるやかに持ち直していくことが期待されます。一方で、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れリスクや物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。また、依然として収束が見えない感染症による影響にも注視する必要があります。

このような経営環境下で当社グループは、メディア&デジタルマーケティング事業とトライアルマーケティング&コマース事業を中心に、「個人を豊かに、社会を元気に。」というミッションのもと、総合情報サイト「A11 About」における「ガイド」に代表されるような個人のチカラを活かし、ユーザーやクライアントの皆様にとって最適なソリューション及びサービスを提供すべく、グループ経営を推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,329百万円（前年同四半期比6.5%増）、営業利益は8百万円（前年同四半期比98.1%減）、経常利益は22百万円（前年同四半期比95.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は25百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益221百万円）となりました。

報告セグメントの状況は以下のとおりであります。

(マーケティングソリューションセグメント)

マーケティングソリューションセグメントにおきましては、当第2四半期連結累計期間において、プログラマティック広告売上の基礎となるメディアセッション数の上昇や、専門家を活用した新たなサービスの開始などの貢献もありましたが、タイアップ広告や他メディア向けコンテンツ販売の苦戦に加え、「PrimeAD」開発費用等の戦略投資が増加いたしました。

以上の結果、マーケティングソリューションセグメントの外部顧客に対する売上高は1,060百万円（前年同四半期比4.7%増）、セグメント損失は46百万円（前年同四半期はセグメント利益60百万円）となりました。

(コンシューマサービスセグメント)

コンシューマサービスセグメントにおきましては、2021年10月から始まったd払いサンプル百貨店の加算や、dショッピング事業の堅調な推移などにより前年同四半期を上回る売上高となりました。一方、ドコモ経済圏向けマーケティング費用の増加や採用強化など、当期に計画している戦略投資を行ったことにより減益となりました。

以上の結果、コンシューマサービスセグメントの外部顧客に対する売上高は7,269百万円（前年同四半期比6.7%増）、セグメント利益は315百万円（前年同四半期比50.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は6,275百万円となり、前連結会計年度末に比べ52百万円増加いたしました。これは主に未収入金が301百万円増加した一方、売掛金が214百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は2,011百万円となり、前連結会計年度末に比べ299百万円増加いたしました。これは主にソフトウェア仮勘定が139百万円、投資有価証券が140百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,256百万円となり、前連結会計年度末に比べ427百万円増加いたしました。これは主に未払金が333百万円、未払費用が115百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は120百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債が2百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は4,909百万円となり、前連結会計年度末に比べ77百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失を25百万円計上したこと及び95百万円の配当実施により、利益剰余金が120百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月11日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

当社グループは中長期的な成長に向け機動的に戦略投資を行う方針から、戦略投資額に一定の幅があること等を想定し、レンジ形式による開示としております。

なお、感染症の影響による厳しい状況が徐々に緩和され経済活動の持ち直しの動きがみられますが、今後の感染症の状況、金融資本市場の変動等、将来予測情報の前提となる経営環境が変動する可能性があるため、当社グループの業績に影響を及ぼす事象が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,698,483	2,490,298
受取手形	16,060	—
売掛金	1,855,917	1,641,471
未収入金	1,177,902	1,479,470
商品及び製品	391,843	489,906
未成制作費	2,392	25,621
前払費用	71,859	111,534
その他	21,173	46,080
貸倒引当金	△12,508	△8,563
流動資産合計	6,223,124	6,275,820
固定資産		
有形固定資産		
建物	261,610	261,610
減価償却累計額	△16,439	△26,856
建物(純額)	245,170	234,753
工具、器具及び備品	76,652	84,142
減価償却累計額	△35,909	△42,070
工具、器具及び備品(純額)	40,743	42,071
有形固定資産合計	285,913	276,825
無形固定資産		
のれん	10,148	8,660
ソフトウェア	667,227	682,239
ソフトウェア仮勘定	78,181	218,137
その他	522	522
無形固定資産合計	756,080	909,560
投資その他の資産		
投資有価証券	206,952	347,614
関係会社株式	63,879	65,060
破産更生債権等	16,058	15,938
差入保証金	303,903	304,085
繰延税金資産	64,677	71,348
その他	30,101	36,568
貸倒引当金	△15,928	△15,928
投資その他の資産合計	669,644	824,687
固定資産合計	1,711,638	2,011,074
資産合計	7,934,763	8,286,894

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,090,411	1,062,117
未払金	1,156,300	1,489,437
未払費用	384,143	499,291
未払法人税等	70,941	61,198
未払消費税等	34,345	20,985
預り金	59,816	90,092
賞与引当金	5,400	5,600
その他	27,726	28,109
流動負債合計	2,829,085	3,256,831
固定負債		
退職給付に係る負債	42,718	45,233
資産除去債務	74,350	74,350
その他	1,084	701
固定負債合計	118,153	120,285
負債合計	2,947,238	3,377,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,285,494	1,285,494
資本剰余金	2,229,919	2,150,521
利益剰余金	1,671,108	1,550,902
自己株式	△582,262	△460,890
株主資本合計	4,604,259	4,526,028
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,945	△366
その他の包括利益累計額合計	1,945	△366
新株予約権	6,338	6,338
非支配株主持分	374,979	377,777
純資産合計	4,987,524	4,909,777
負債純資産合計	7,934,763	8,286,894

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	7,823,738	8,329,897
売上原価	3,384,681	3,501,929
売上総利益	4,439,057	4,827,968
販売費及び一般管理費	3,993,996	4,819,473
営業利益	445,061	8,495
営業外収益		
受取利息	868	826
受取配当金	2,300	5,500
持分法による投資利益	3,320	1,181
投資有価証券評価益	—	553
助成金収入	—	5,976
その他	2,325	1,705
営業外収益合計	8,814	15,743
営業外費用		
投資有価証券評価損	1,527	865
その他	665	1,361
営業外費用合計	2,192	2,226
経常利益	451,683	22,012
特別損失		
固定資産除却損	0	81
減損損失	3,239	596
本社移転費用	22,065	—
特別損失合計	25,305	678
税金等調整前四半期純利益	426,377	21,333
法人税、住民税及び事業税	173,107	49,551
法人税等調整額	26,610	△5,811
法人税等合計	199,718	43,739
四半期純利益又は四半期純損失(△)	226,659	△22,406
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,306	2,797
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	221,352	△25,203

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	226,659	△22,406
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	363	△5,286
その他の包括利益合計	363	△5,286
四半期包括利益	227,022	△27,692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	221,715	△30,490
非支配株主に係る四半期包括利益	5,306	2,797

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	1,013,291	6,810,446	7,823,738	—	7,823,738
外部顧客への売上高	1,013,291	6,810,446	7,823,738	—	7,823,738
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26,723	9,763	36,486	△36,486	—
計	1,040,014	6,820,210	7,860,225	△36,486	7,823,738
セグメント利益又は損 失(△)	60,050	635,897	695,948	△250,886	445,061

(注) 1. セグメント利益の調整額△250,886千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△250,886千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	1,060,744	7,269,153	8,329,897	—	8,329,897
外部顧客への売上高	1,060,744	7,269,153	8,329,897	—	8,329,897
セグメント間の内部 売上高又は振替高	28,844	2,212	31,056	△31,056	—
計	1,089,588	7,271,365	8,360,954	△31,056	8,329,897
セグメント利益又は損 失(△)	△46,848	315,004	268,156	△259,660	8,495

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△259,660千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△259,660千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。